

藤前干潟には「渡り鳥の宝石」と呼ばれる幻の宝があるという。

そのありかは長く謎に包まれており、見つけた者はいない。

あなたは、そのありかを示すであろう古い地図を手に入れた。

ところが地図には、謎の絵や文字が残されているだけで

肝心の幻の宝の場所がわからない。

それらを読み解き、「渡り鳥の宝石」のありかを突き止めよう！



LINEでヒントを見よう！

“リアル謎解きゲーム 消えた渡り鳥の宝石”のLINEアカウントを
友だち登録してヒント合言葉を送信すると、すぐにヒントが見られるよ！
合言葉は解答欄のすぐ近くか、問題ポスターの下に書かれているよ！

LINEの友だち登録はこちらから！▶



⚠ 注意事項 ⚠

- 答えがわかってても大きな声で言わないでね！
- ※ 他の方の謎を解く楽しみを奪ってしまうことになるよ。
- 問題の内容に関わる部分はSNSなどで公開しないでね！
- 謎を解きながら歩かないでね！
- ※ 解答用紙やLINEヒントを見ながらの歩行は大変危険です。
- 受付の人も、受付以外の場所の人も、謎のヒントや答えは知らないよ！
謎が解けない場合はLINEのヒントを活用してね！



もっと
知ろう！

藤前干潟

藤前干潟の魅力

藤前干潟は大都市を支える物流港・名古屋港の中に残された貴重な干潟であり、また生きものに出会える場としても大切な場所です。

また藤前干潟は、シギ・チドリ類の東アジア～オーストラリア渡りルート上における中継地として重要な場所となっており、渡り鳥の飛来地として特に有名です。



世界が認めた藤前干潟

ごみが増え続けていた1990年代、藤前干潟にごみの埋立処分場を建設する計画が進められていましたが、藤前干潟が渡り鳥の貴重な飛来地だったことから、反対の声の高まりを受けて計画は中止となり、ごみ減量と呼びかける「ごみ非常事態宣言」が発表されました。その後、市民・事業者の協力によりごみ減量・干潟保全に取り組んだ結果、藤前干潟は2002年にラムサール条約に登録、2025年には名古屋市が「ラムサール条約湿地都市」として認証され、これまでの取組みが国際的に評価されました。



藤前干潟で見られる鳥たち

旅鳥



オオソリハシシギ

夏鳥



コアジサシ

冬鳥



オナガガモ

留鳥



ダイサギ

来て！見て！知って！
みなと
わくわく
ポイント

みなびいシールを3枚集めて
協賛店で特典をゲットしよう！

謎解きゲームに参加してくれた方に
みなびいシールを1枚プレゼント！

詳しくはこちら

わくわくポイント

謎解きゲーム

参加
無料

消えた渡り鳥の宝石



藤前干潟に眠る謎を解き明かせ！

開催期間
2026. 9.1(火)
→ 10.31(土)



リアル謎解きゲームの詳細はこちら



ゴール報告場所

- ・港区役所3階地域力推進課 ▶ 8:45～17:15まで(平日のみ)
- ・名古屋市野鳥観察館 ▶ 9:00～16:30まで
休館日/毎週月曜(※祝日の場合は翌平日)・第三水曜

העיתון